

## 5. 市民共生について

### (1) 人権が尊重されるまちになっているか

問21 あなたは、甲賀市が「人権が尊重されるまちになっている」と感じますか。  
(○は1つだけ)

※『感じる』:「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」の合計  
※『感じない』:「どちらかといえばそう感じない」と「感じない」の合計

○人権が尊重されるまちになっているかは、「どちらともいえない」が35.0%で最も多くなっているが、「どちらかといえばそう感じる」(22.6%)と「そう感じる」(4.6%)と合わせると、『感じる』が27.3%で、前回(31.0%)より低くなっており、「わからない」が19.5%で、前回(12.5%)より7.0ポイント高くなっている。

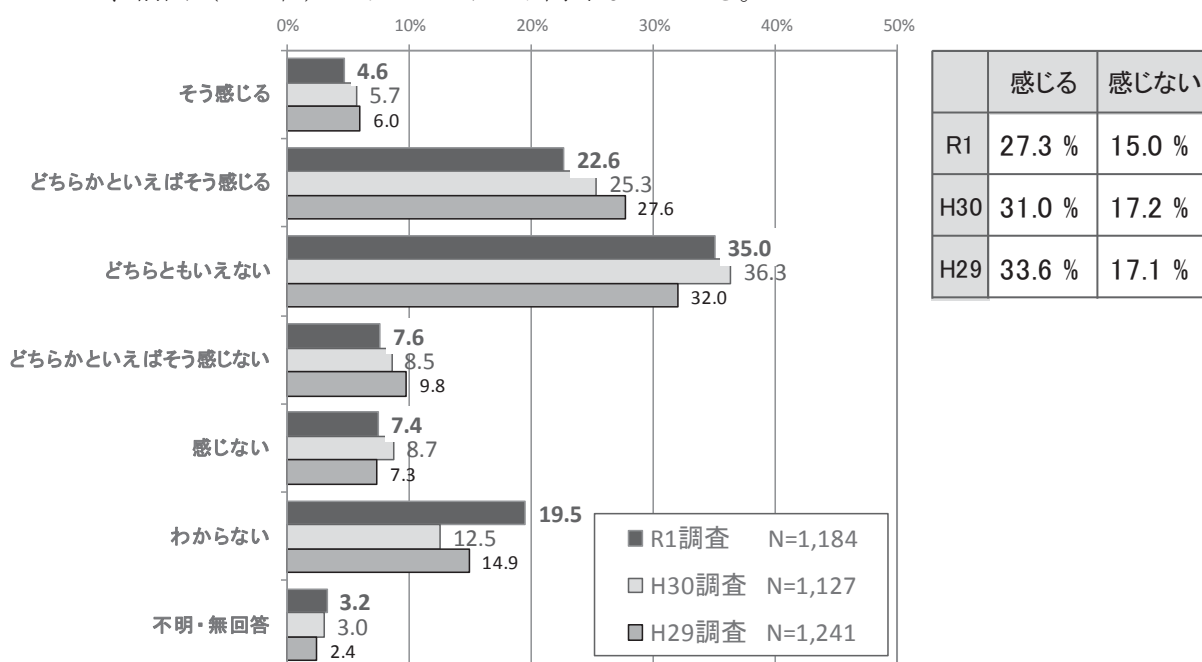


図 93 人権が尊重されるまちになっているか

○性別に『感じる』の割合をみると、女性(26.7%)よりも男性(28.1%)の方がわずかに高くなっている。

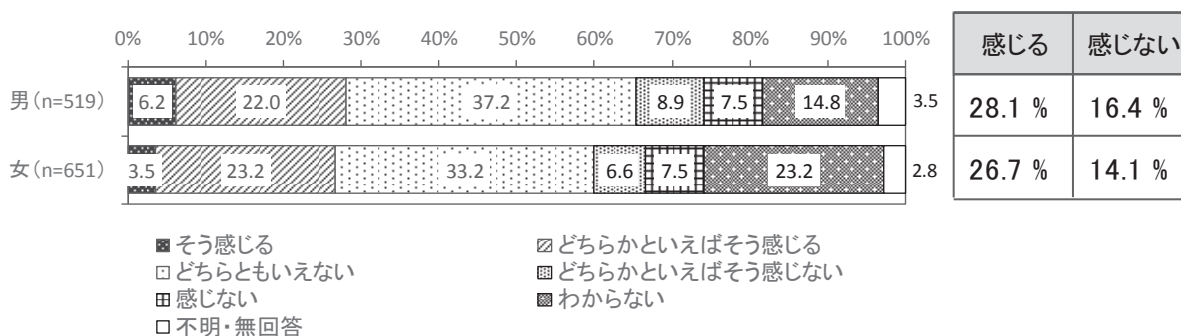


図 94 人権が尊重されるまちになっているか《性別》

○年代別に『感じる』の割合をみると、70歳以上が35.9%で最も高く、以下、40歳代が26.8%、60歳代が25.3%と続いている。一方、30歳代以下では『感じる』の割合が2割を下回っている。

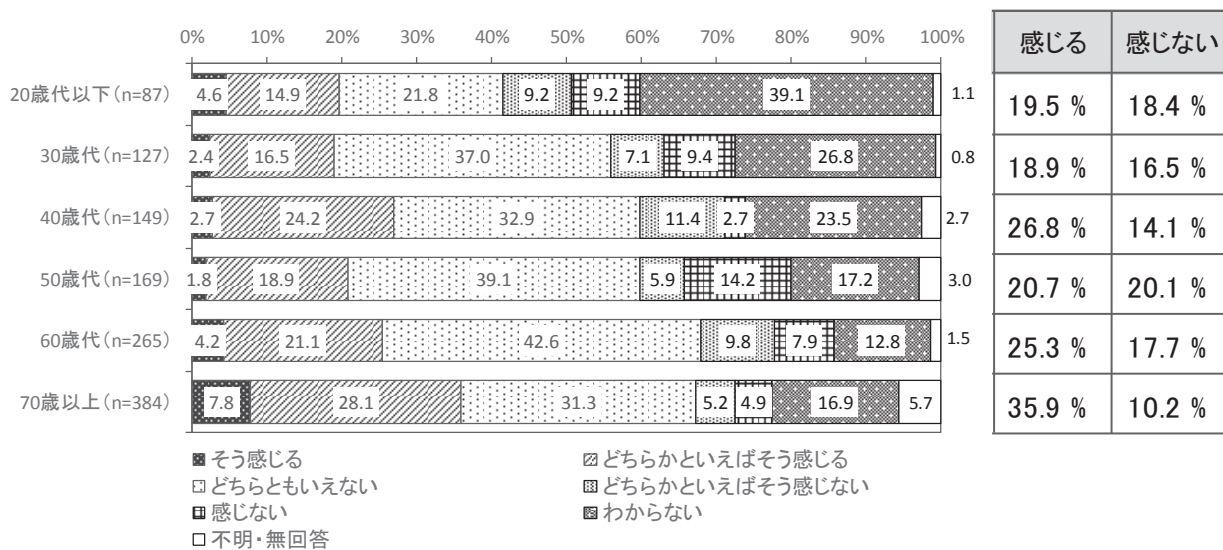


図 95 人権が尊重されるまちなっているか《年代別》

○居住地域別に『感じる』の割合をみると、信楽地域が31.0%で最も高く、以下、甲南地域が28.2%、土山地域が27.1%と続いている。

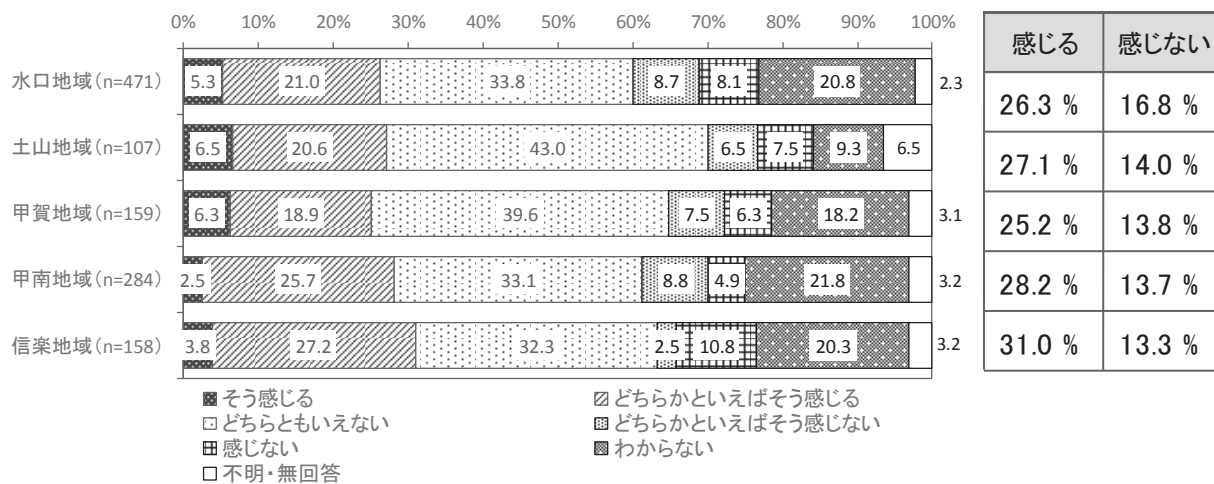


図 96 人権が尊重されるまちなっているか《居住地域別》

## (2) 人権に関する研修会等への参加【新規設問】

問22 あなたはここ3年以内で、人権に関する研修会等（職場、学校、地域、市主催のセミナー等）に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

○人権に関する研修会等への参加については、「ない」が59.6%で半数を超えるが、「ある」が37.6%いる。

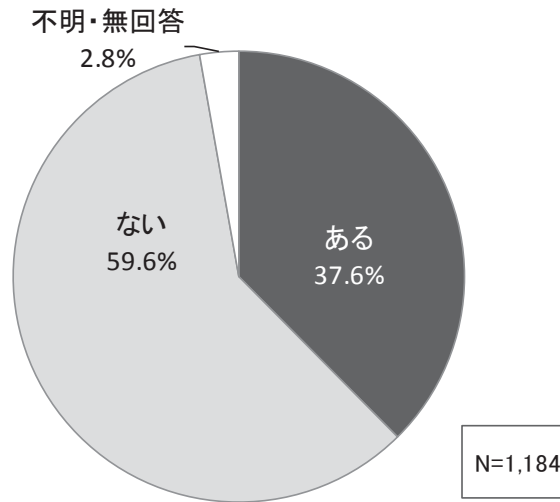


図 97 人権に関する研修会等への参加

○性別に「ある」の割合をみると、女性（33.0%）よりも男性（43.7%）の方が10.7ポイント高くなっている。

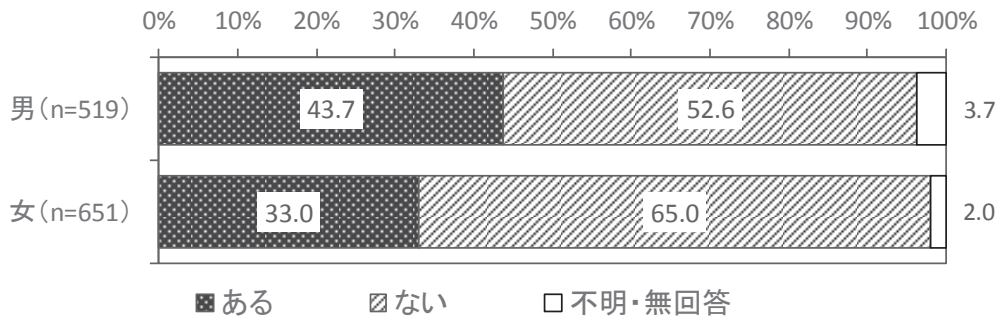


図 98 人権に関する研修会等への参加《性別》

○年代別にみると、70歳以上を除き年代が上がるほど「ある」の割合が高くなっている。

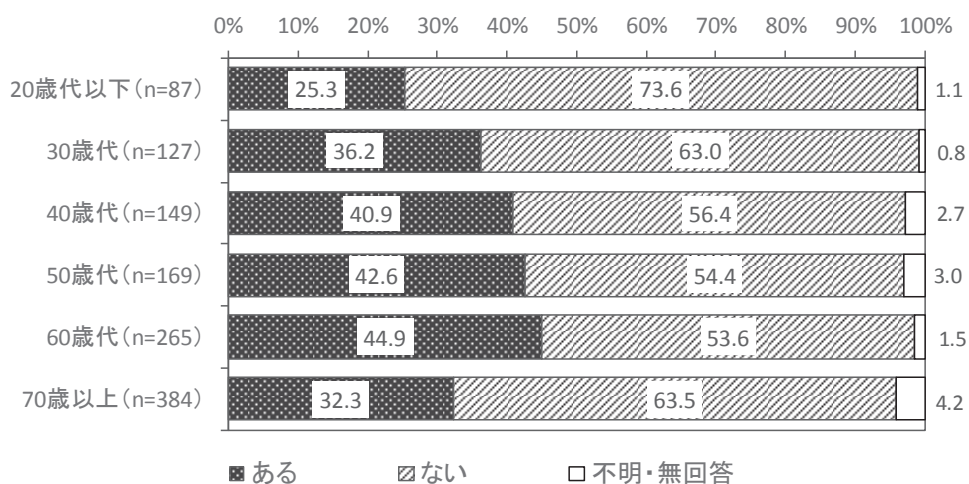


図 99 人権に関する研修会等への参加《年代別》

○居住地域別に「ある」の割合をみると、土山地域が49.5%で最も高くなっている。一方信楽地域は32.9%で土山地域との差は16.6ポイントとなっている。

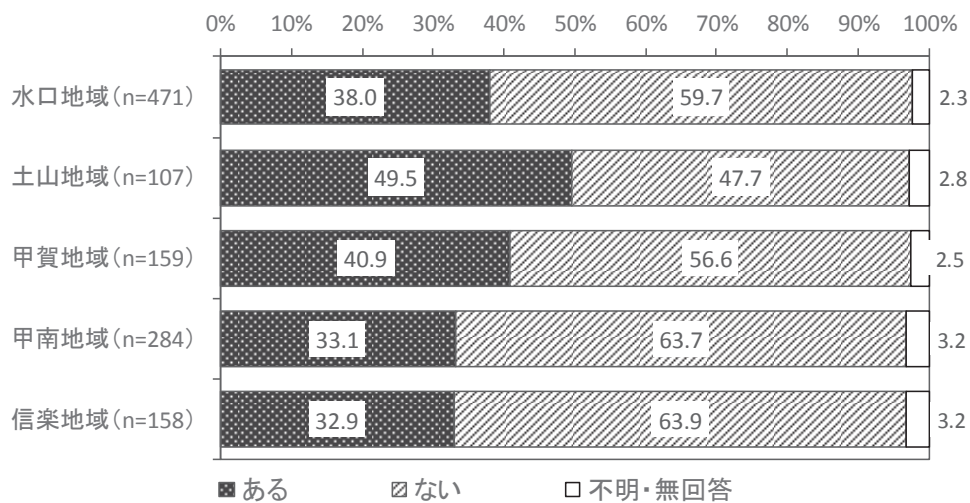


図 100 人権に関する研修会等への参加《居住地域別》

### (3) 人権の尊重されるまちの実現に向けて【新規設問】

問23 人権の尊重されるまちの実現に向けて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。  
(○は1つだけ)

○人権の尊重されるまちの実現に向けて、「特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」が50.9%で最も多く、次いで「実現に向けて、自分のできる限りの努力をしたい」が20.9%、「特に考えていない」が10.1%、「自分ではどうにもならないので、なりゆきにまかせる」が7.3%と続いている。

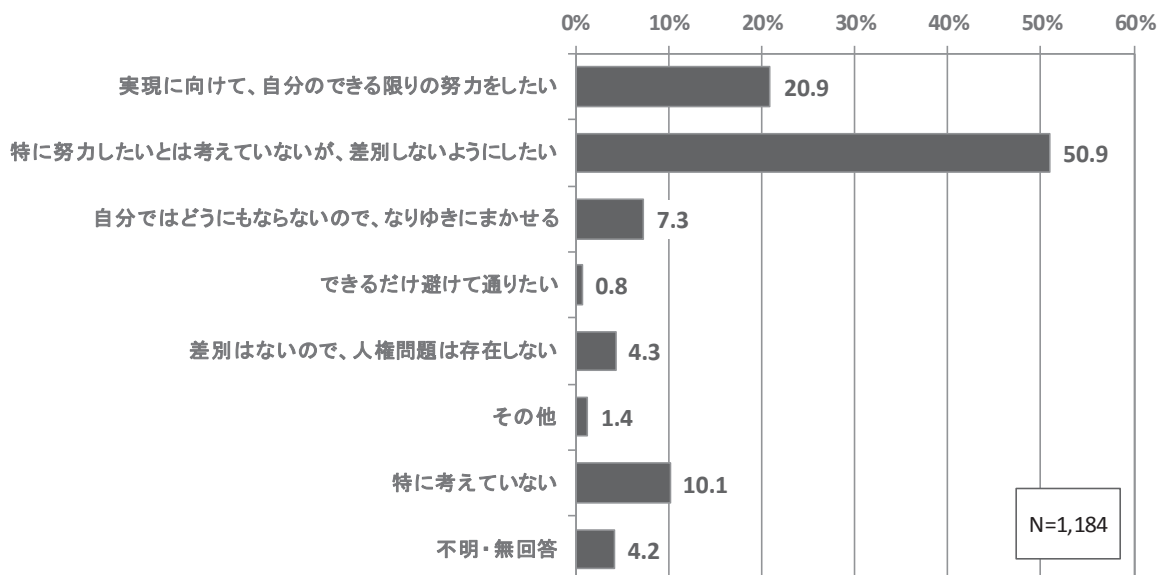


図 101 人権の尊重されるまちの実現に向けて

○性別にみると、大きな差はみられない。

○年代別にみると、若い年代で「実現に向けて、自分のできる限りの努力をしたい」が比較的高いが、「特に考えていない」についても20歳代以下（13.8%）、30歳代（15.0%）ともに比較的高くなっている。

○居住地域別にみると、すべての地域で「特に努力したいとは考えていないが、差別しないようにしたい」が最も多く、次いで「実現に向けて、自分のできる限りの努力をしたい」が続いている。

※太字は上位3つ(「不明・無回答」を除く)

単位：%

(複数回答)		分実 努力でに 力を向 ける限り の自	特 が、考 えに別 した くないよ	自 りなら ぬきに まかせ るなも	で きるだ け通 りた い避 けて	人 権問 題は ない 存在 し	特 に考 えて いな い	そ の 他	不 明・ 無回 答
性 別	全 体 (N=1, 184)	20.8	50.9	7.9	1.0	4.8	8.7	2.1	3.9
	男(n=519)	21.4	51.3	6.9	0.6	4.0	10.9	0.8	4.1
年 代 別	女(n=651)	26.4	48.3	6.9	0.0	1.1	13.8	1.1	2.3
	20歳代以下(n=87)	22.0	53.5	6.3	0.0	1.6	15.0	0.8	0.8
	30歳代(n=127)	20.8	55.0	7.4	0.7	2.7	7.4	2.0	4.0
	40歳代(n=149)	24.3	52.7	7.7	0.0	2.4	5.9	1.8	5.3
	50歳代(n=169)	18.9	55.5	6.8	2.3	4.9	7.5	1.5	2.6
	60歳代(n=265)	19.0	45.6	8.1	0.5	7.0	12.5	1.0	6.3
	70歳代以上(n=384)	22.5	51.2	7.0	0.8	2.8	10.6	1.5	3.6
居 住 地 域 別	水口地域(n=471)	26.2	44.9	12.1	1.9	8.4	2.8	0.0	3.7
	土山地域(n=107)	21.4	42.8	10.1	0.6	6.3	12.6	2.5	3.8
	甲賀地域(n=159)	15.1	58.5	6.3	0.7	3.9	8.8	1.1	5.6
	甲南地域(n=284)	22.2	49.4	4.4	0.0	5.1	13.9	1.3	3.8
信楽地域(n=158)									

図 102 人権の尊重されるまちの実現に向けて《性別・年代別・居住地域別》

#### (4) 多文化共生の推進のためにできること【新規設問】

問24 多文化共生のまちづくりを推進するために、あなたは何ができると思いますか。  
(複数選択回答)

○多文化共生の推進のためにできることについては、「外国人にあいさつしたり、気軽に話しかける」が41.7%で最も多く、「地域での生活習慣やルールを伝える」が31.8%と続くが、次いで「特になし」が25.6%と多くなっている。

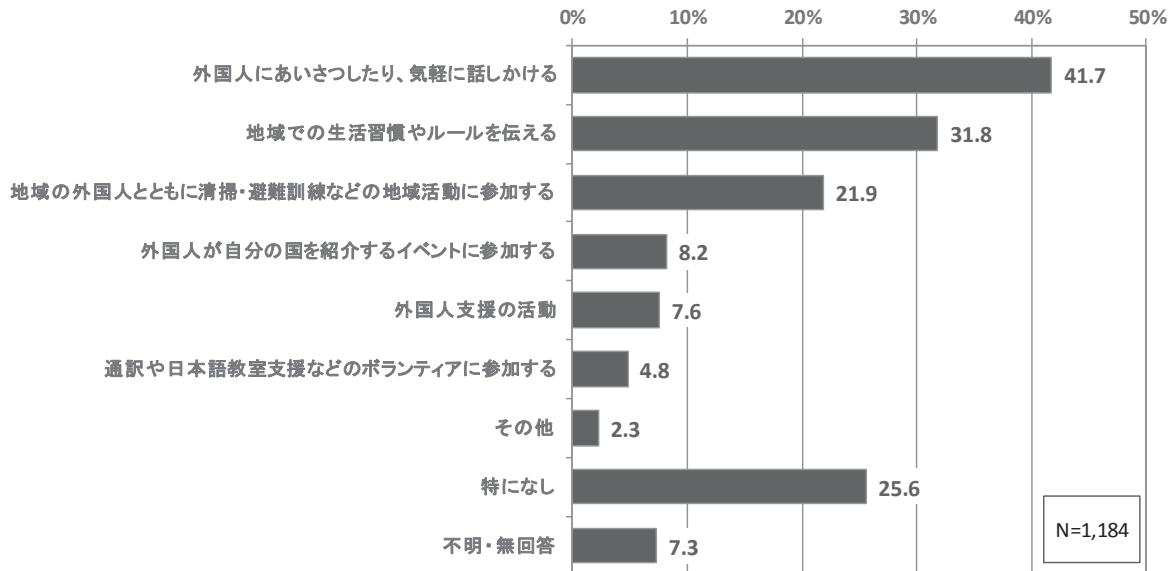


図 103 多文化共生の推進のためにできること

○性別にみると、大きな差はみられないが、女性で「外国人にあいさつしたり、気軽に話しかける」(43.9%)、男性で「地域での生活習慣やルールを伝える」(33.7%)がそれぞれわずかに高い。

○年代別にみると、50歳代以下では「外国人にあいさつしたり、気軽に話しかける」が5割と比較的高く、また「外国人が自分の国を紹介するイベントに参加する」、「通訳や日本語教室支援などのボランティアに参加する」では年代が若いほどが高くなっている。

○居住地域別にみると、土山地域で「地域の外国人とともに清掃・避難訓練などの地域活動に参加する」(27.1%)が比較的高く、「特になし」(16.8%)が低くなっている。

※太字は上位3つ(「不明・無回答」を除く)

単位：%

(複数回答)	外国人に会い たり、気軽に話さ し	地域 — ル— ル— を伝える	地 域の 清掃の 地域・外国人 活動に 参加する	どに 地域の 清掃の 地域・外国人 活動に 参加する	紹介 する 外国人 が自分 の国を 紹介 する イベント に参加 する	外 国 人 支 援 の 活 動	通 訳 や 日 本 語 教 室 支 援 な ど の ボ ラ ン テ ィ ア に 参 加 す る	特 に な し	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全 体 (N=1,184)	41.7	31.8	21.9	8.2	7.6	4.8	25.6	2.3	7.3	
性別										
男 (n=519)	39.7	33.7	23.3	7.5	9.6	4.0	26.8	2.5	6.2	
女 (n=651)	43.9	30.6	20.9	8.8	6.1	5.5	24.3	2.2	8.0	
年代別										
20歳代以下 (n=87)	48.3	36.8	17.2	14.9	11.5	10.3	27.6	1.1	3.4	
30歳代 (n=127)	48.8	27.6	25.2	12.6	8.7	10.2	22.8	1.6	1.6	
40歳代 (n=149)	47.0	31.5	27.5	10.1	9.4	7.4	22.8	1.3	4.0	
50歳代 (n=169)	47.9	36.1	21.9	7.7	11.2	7.1	20.7	3.0	7.1	
60歳代 (n=265)	41.9	36.2	24.2	8.7	7.5	2.6	24.2	2.3	4.9	
70歳代以上 (n=384)	33.1	27.3	18.2	4.4	4.2	1.3	30.5	2.9	13.0	
居住地別										
水口地域 (n=471)	42.7	31.0	21.7	8.3	7.6	5.3	25.9	2.1	5.7	
土山地域 (n=107)	43.9	36.4	27.1	4.7	6.5	2.8	16.8	0.9	12.1	
甲賀地域 (n=159)	38.4	32.1	23.3	6.9	7.5	3.8	29.6	1.9	10.7	
甲南地域 (n=284)	43.0	32.0	19.0	8.8	6.3	4.9	24.6	3.2	7.4	
信楽地域 (n=158)	39.2	31.0	23.4	9.5	10.8	5.1	29.1	1.9	5.1	

図 104 多文化共生の推進のためにできること《性別・年代別・居住地域別》



## (5) 多文化共生の推進のために市が力を入れるべきこと【新規設問】

問25 多文化共生のまちづくりを推進するために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数選択回答)

○多文化共生の推進のために市が力を入れるべきことについては、「日本の文化や生活習慣などを教える教室の開催」が41.2%で最も多く、次いで「多言語による情報提供」が31.8%、「日本語教室の開催など日本語を学ぶひとへの支援」が30.5%、「日本人と外国人との交流会やイベントの開催」が26.3%と続いている。

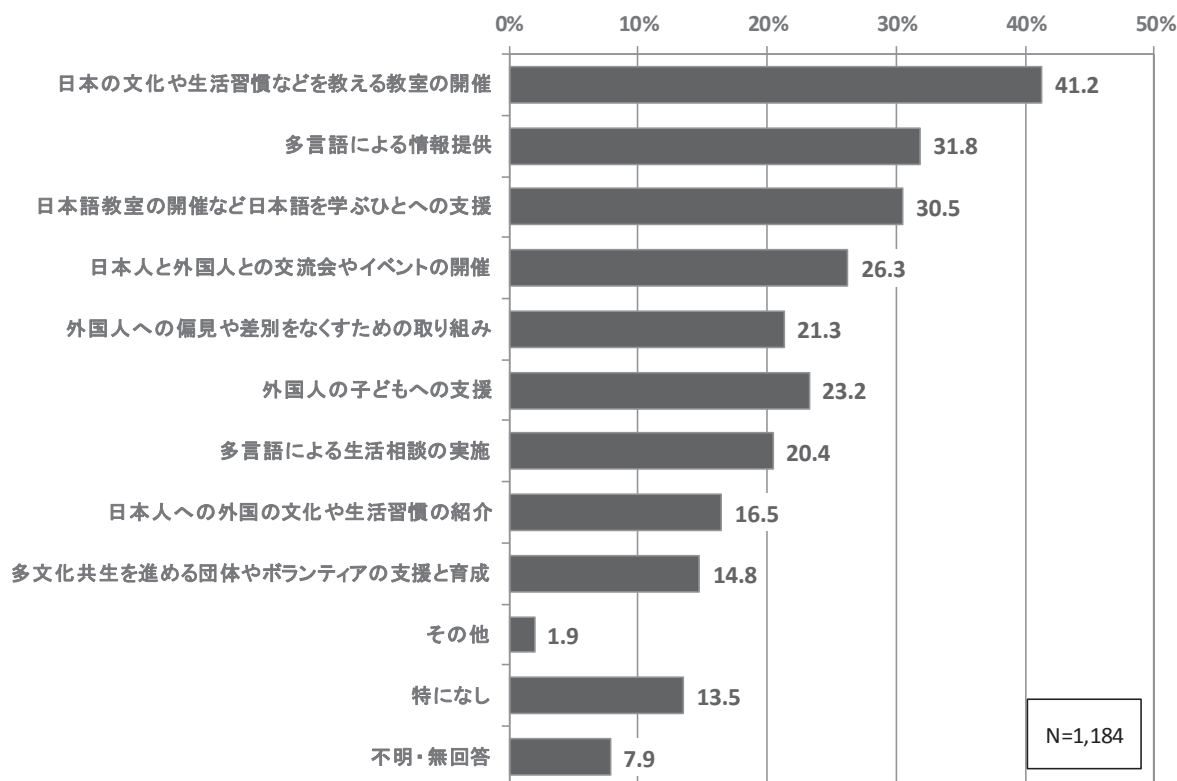


図 105 多文化共生の推進のために市が力を入れるべきこと

○性別にみると、各項目で数ポイントの差がみられるが、上位三項目については同様となっている。

○年代別にみると、30歳代、40歳代で「日本人と外国人との交流会やイベントの開催」や「外国人の子どもへの支援」で全体と比較して高い。また、20歳代以下で「日本の文化や生活習慣などを教える教室の開催」(29.9%)が比較的低くなっている。

○居住地域別にみると、すべての地域で「日本の文化や生活習慣などを教える教室の開催」が最も多くなっている。

※太字は上位3つ(「不明・無回答」を除く)

(複数回答)	単位：%											不明・無回答
	日本の文化や生活習慣などを教える教室の開催など	多言語による情報提供	日本語を学ぶひとへの支援など日本	日本人と外国人との交流会やイベントの開催	外国人への偏見や差別をなくすための取り組みをな	外国人の子どもへの支援	多言語による生活相談の実施	日本人への外国の文化や生活習慣の紹介	ボランテニアの支援と育成や	特になし	その他	
全体 (N=1,184)	41.2	31.8	30.5	26.3	21.3	23.2	20.4	16.5	14.8	13.5	1.9	7.9
性別												
男 (n=519)	44.1	28.5	29.9	27.9	24.3	19.5	16.8	19.3	14.1	14.5	2.7	6.7
女 (n=651)	39.2	34.9	31.3	25.3	19.2	26.4	23.3	14.6	15.1	12.4	1.4	8.4
年代別												
20歳代以下 (n=87)	29.9	37.9	27.6	27.6	23.0	31.0	29.9	18.4	12.6	18.4	0.0	4.6
30歳代 (n=127)	44.9	46.5	34.6	37.8	26.8	37.0	26.0	24.4	13.4	10.2	2.4	1.6
40歳代 (n=149)	40.3	38.9	32.9	32.9	24.8	34.9	24.8	16.8	14.8	9.4	0.7	3.4
50歳代 (n=169)	46.7	40.2	39.1	23.1	23.7	25.4	28.4	13.0	15.4	10.7	3.0	7.1
60歳代 (n=265)	41.1	35.5	30.9	24.2	23.0	19.6	19.2	17.7	16.6	12.1	2.3	4.5
70歳代以上 (n=384)	40.6	16.9	25.0	22.4	15.6	13.8	12.2	14.1	14.1	17.4	2.1	14.6
居住地別												
水口地域 (n=471)	43.7	33.5	29.1	24.8	20.4	23.8	21.9	17.0	14.6	13.4	2.3	7.0
土山地域 (n=107)	43.0	21.5	31.8	32.7	26.2	18.7	15.0	16.8	15.0	8.4	0.0	8.4
甲賀地域 (n=159)	36.5	33.3	31.4	25.8	15.1	23.3	18.9	20.1	10.1	16.4	0.0	10.1
甲南地域 (n=284)	39.4	33.5	32.7	24.3	25.0	24.3	21.8	14.1	16.5	13.4	3.2	7.7
信楽地域 (n=158)	40.5	29.1	29.1	30.4	20.9	22.2	18.4	15.2	16.5	15.2	1.3	7.6

図 106 多文化共生の推進のために市が力を入れるべきこと《性別・年代別・居住地域別》

## (6) 「DV」「デートDV」の認知度【新規設問】

問26 あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」や「デートDV」を知っていますか。（○はそれぞれ1つずつ）

○「DV」については、「名前も内容もよく知っている」が43.1%で最も多く、次いで「多少知っている」が32.1%となっており、認知度が高いが、「デートDV」については、「名前も内容も知らない」が36.4%で最も多くなっている。

(N=1,184)

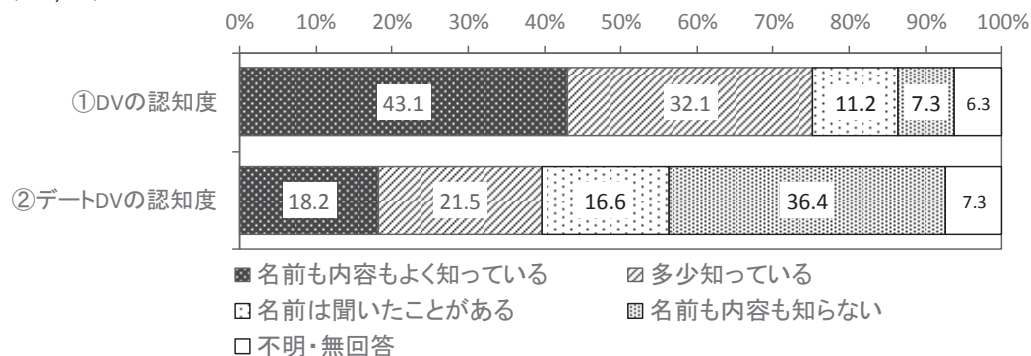


図 107 「DV」「デートDV」の認知度

○性別にみると、「DV」、「デートDV」ともに男性よりも女性の方が認知度はやや高くなっている。

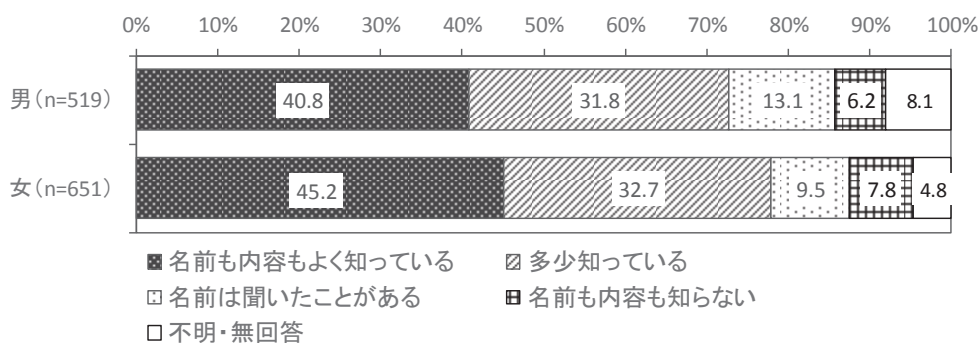


図 108 「DV」の認知度《性別》

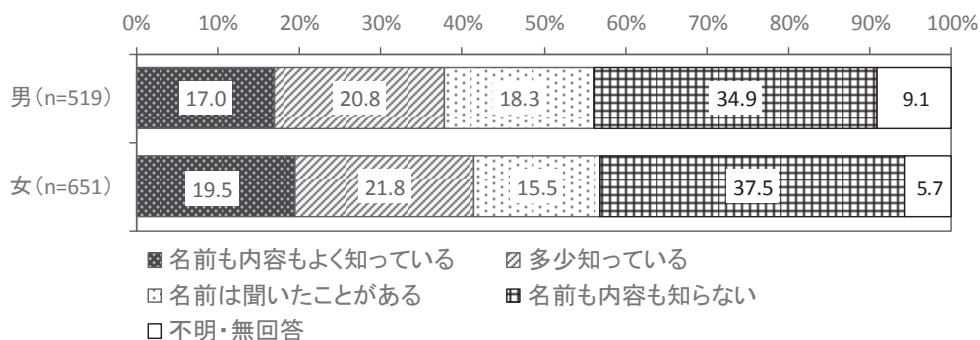


図 109 「デートDV」の認知度《性別》

○年代別にみると、「DV」、「デートDV」ともに、概ね年代が下がるほど認知度が高くなっているが、20歳代以下で「デートDV」の認知度が低く、「名前も内容も知らない」が40.2%となっている。

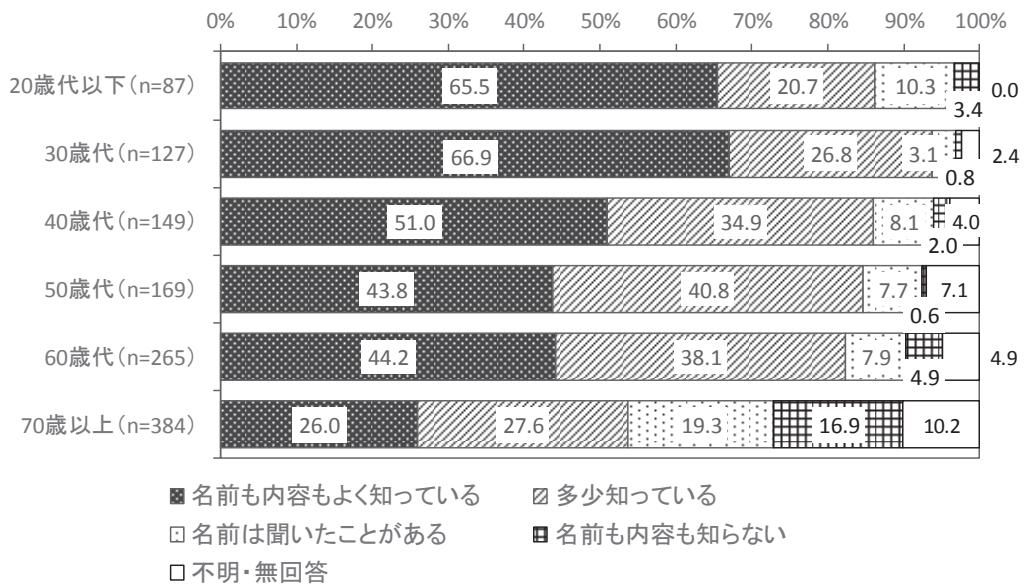


図 110 「DV」の認知度《年代別》

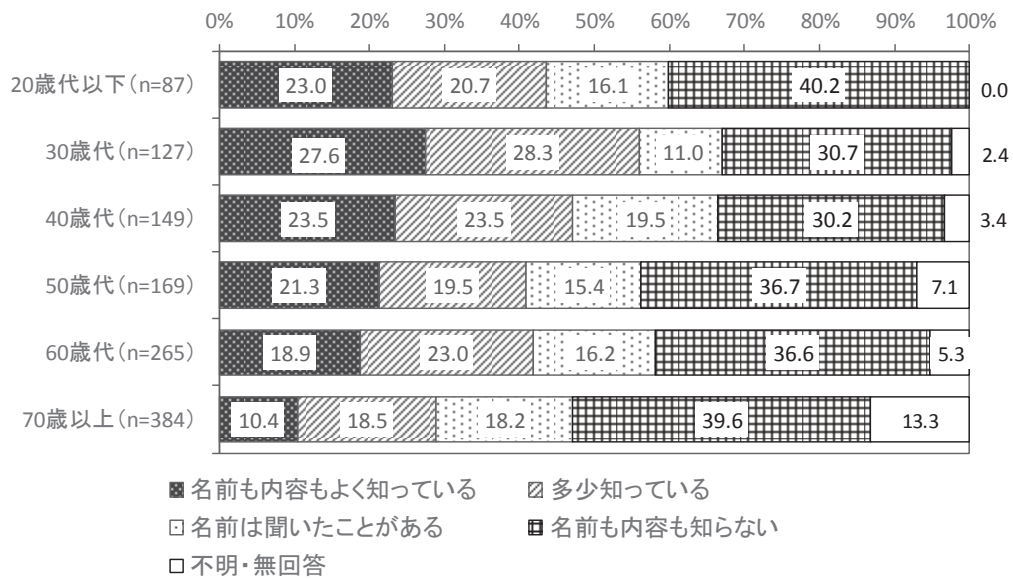


図 111 「デートDV」の認知度《年代別》

○居住地域別にみると、土山地域で「DV」、「デートDV」とともに、比較的認知度が低い。

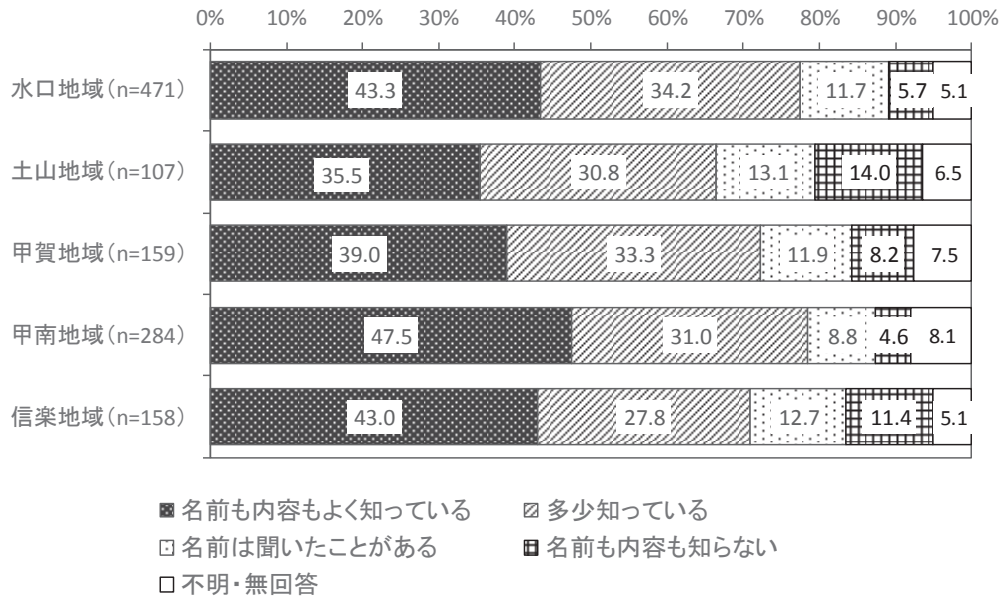


図 112 「DV」の認知度《居住地域別》

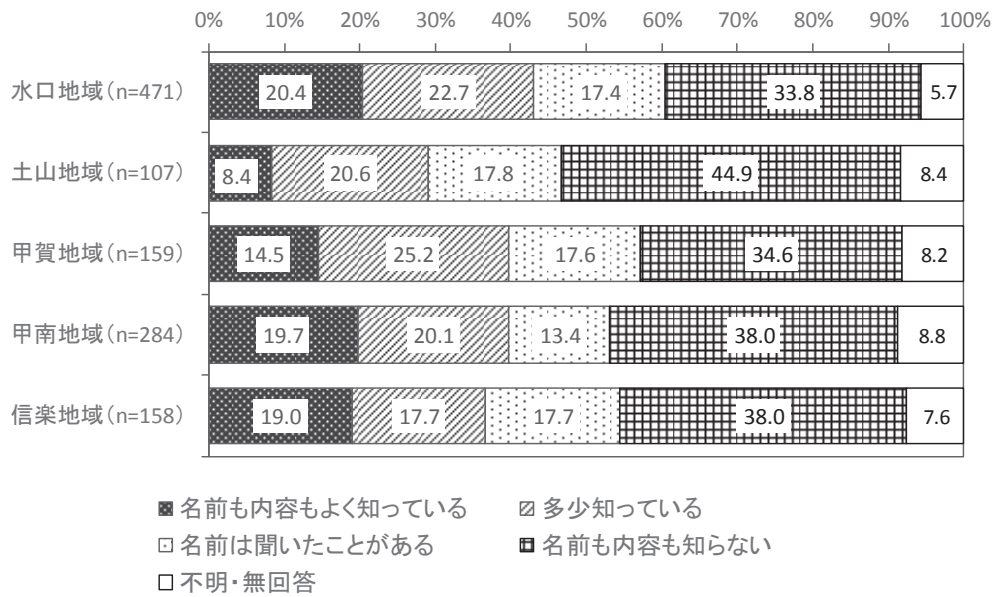


図 113 「デートDV」の認知度《居住地域別》

## (7) 「DV」「デートDV」の経験や相談について

### ① 「DV」「デートDV」の経験【新規設問】

問27 あなたは、DVやデートDVを見聞きしたり被害にあったことがありますか。  
(それぞれ複数選択回答)

○ 「DV」「デートDV」の経験については、すべての項目で「ない」が最も多くなっているが、「身体的な暴力」(8.1%)、「心理的な暴力」(8.0%)では「身近で見聞きした」が比較的多く、「心理的な暴力」では「被害にあった(何度も+1~2回)」が5%以上となっている。

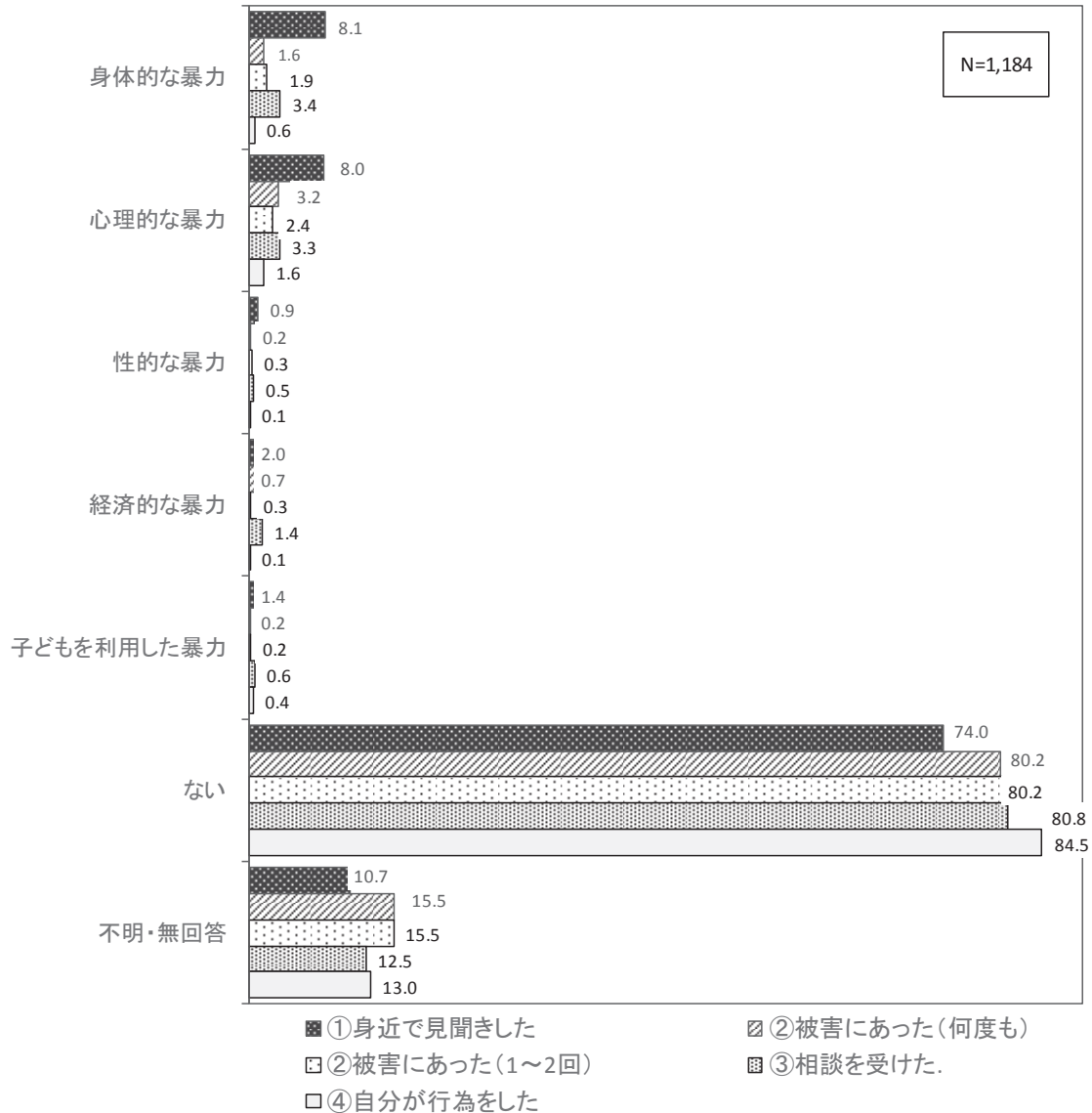


図 114 「DV」「デートDV」の経験

②相談先・相談しなかった（できなかった）理由【新規設問】

付問1 問27の②で「1～10」と回答された方におたずねします。  
 被害にあったとき、どなたかに相談しましたか。相談した場合はどなたに相談したか、  
 相談しなかった場合はその理由を次から選んでください。（複数選択回答）

〈(被害にあった方) 相談先〉

○DVやデータDVの被害にあった経験のある方の相談先については、「友人・知人」が33.7%で最も多く、次いで「家族や親戚」が19.3%、「警察」は9.6%となっている。

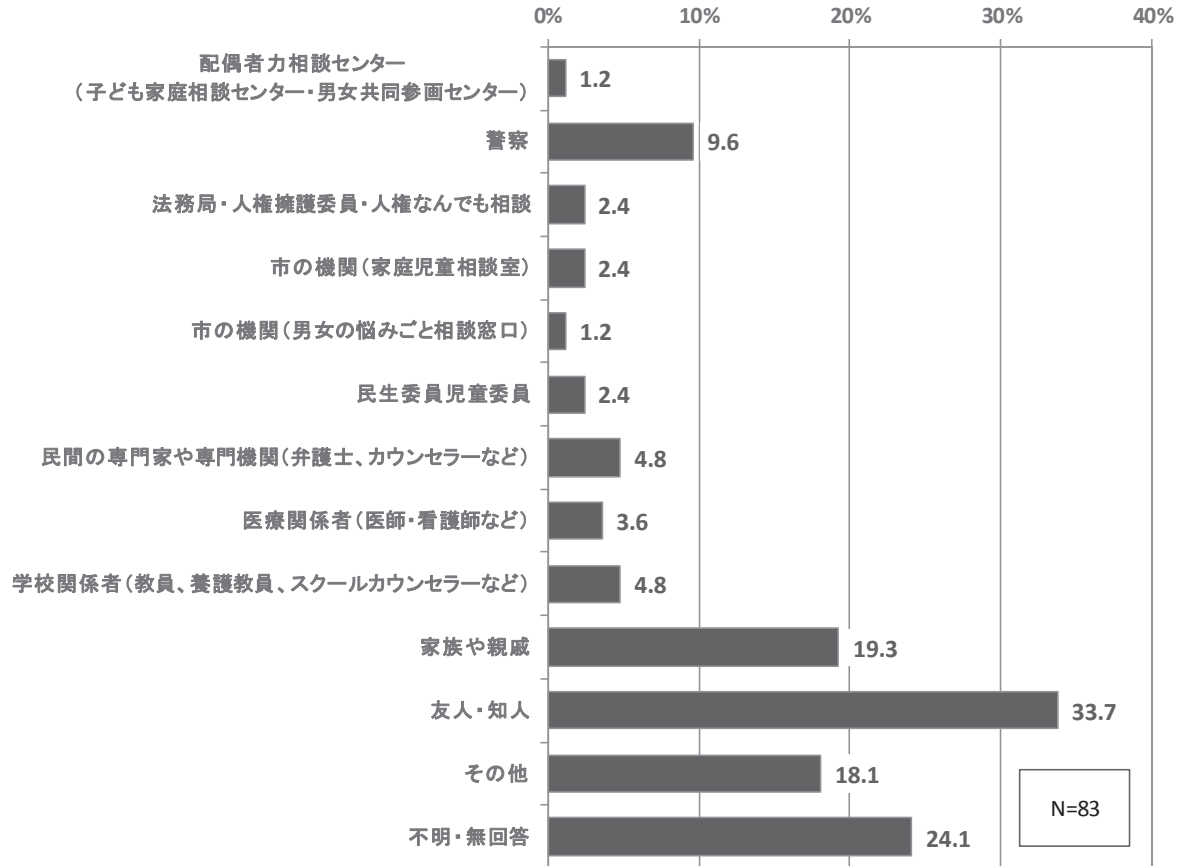


図 115 (被害にあった方) 相談先

〈相談しなかった（できなかった）理由〉

○DVやデータDVの被害にあった経験のある方が相談しなかった（できなかった）理由については、「相談しても無駄だと思った」が21.7%で最も多く、次いで「自分にも悪いところがあり、自分さえ我慢すればよいと思った」が12.0%、「どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった」、「他人に知られたくなかった。他人を巻き込みたくなかった」、「相談するほどのことではないと思った」が9.6%と続いている。

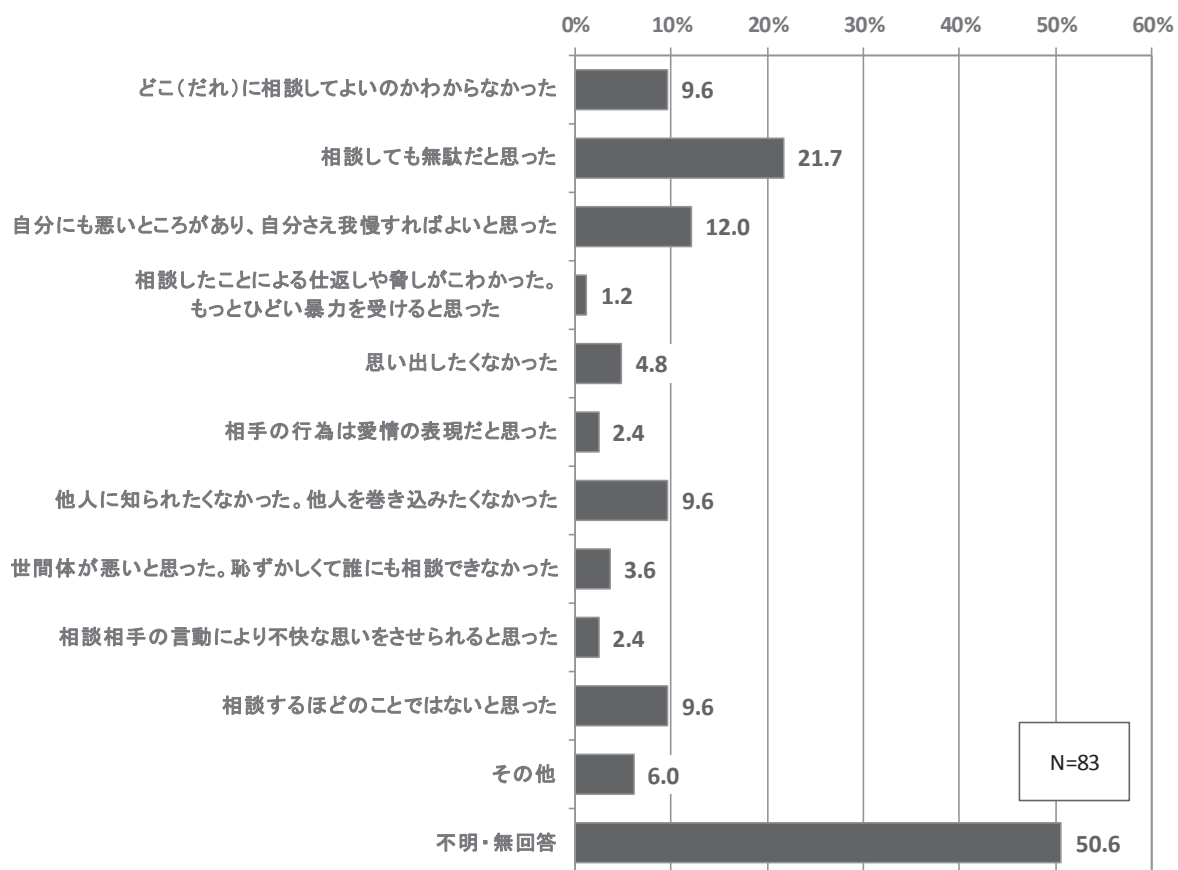


図 116 相談しなかった（できなかった）理由



## (8) DVについての相談窓口の認知度【新規設問】

問28 あなたは、DVについて相談できる窓口を知っていますか。(複数選択回答)

○相談窓口の認知度については、「警察」が38.3%で最も多くなっているが、「市の機関」(14.4%)以下認知度は2割未満であり、「知らない」が30.7%と多くなっている。

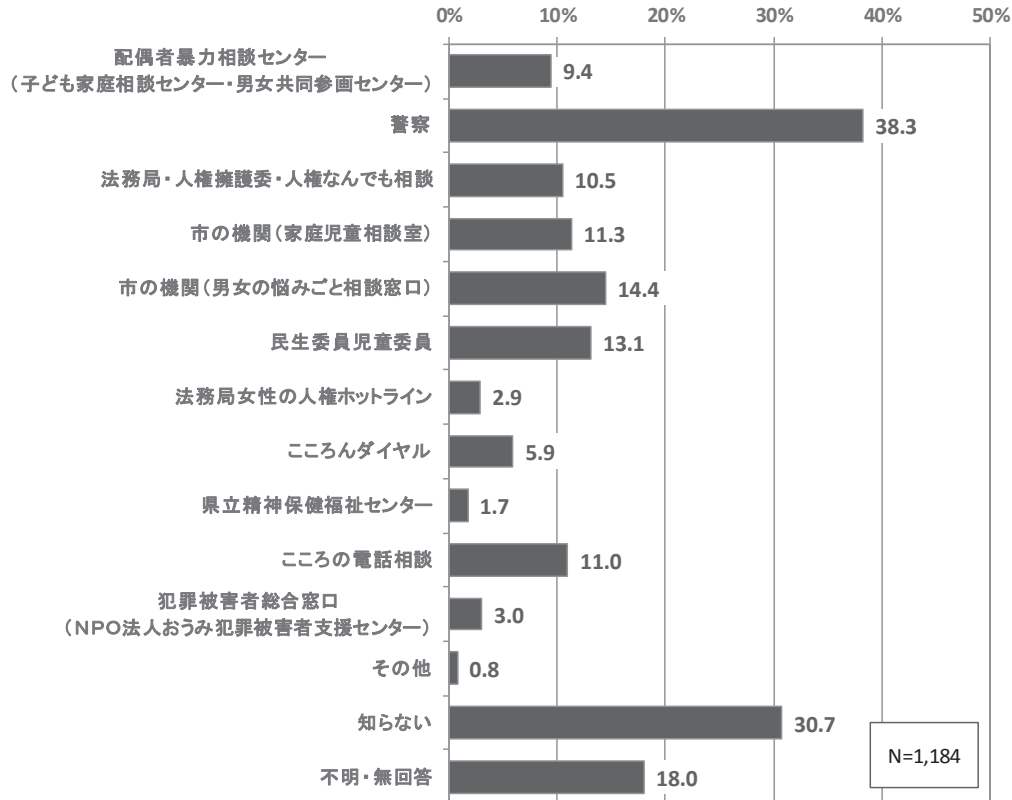


図 117 DVについての相談窓口の認知度

○性別にみると、各項目で数ポイントの差がみられるが、「警察」が男性(39.1%)、女性(37.8%)ともに最も多くなっている。

○年代別にみると、20歳代以下で「こころんダイヤル」が19.5%と比較的高い一方、「知らない」も43.7%で最も高くなっている。20歳代以下では「市の機関」の認知度が他の年代と比較して特に低くなっている。

○居住地域別にみると、すべての地域で「警察」が最も多くなっている。

(複数回答)	家庭 相談 センター （男女 共同 ）	警察	法務局・ 人権なん でも相談 センター （男女 共同 ）	市の機 関（家 庭児 童相 談室）	市の機 関（男 女の 悩み ごと 相談 窓口）	民 生 委 員 会 児 童 委 員	法 務 局 女 性 の 人 権 ホ ッ ト ラ イ ン ク	こ こ ろ ん タ イ ヤ ル	県 立 精 神 保 健 福 祉 セ ン タ ー	こ こ ろ の 電 話 相 談	犯罪被害者総合窓口（NPO法人お うみ犯罪被害者支援センター）		知らない	その他	不明・無 回答
											30.7	30.3			
全 体 (N=1,184)	9.4	38.3	10.5	11.3	14.4	13.1	2.9	5.9	1.7	11.0	3.0	30.7	0.8	18.0	
性別															
男 (n=519)	9.4	39.1	13.3	11.4	11.8	16.4	2.9	4.0	1.7	7.3	3.5	31.6	1.0	17.3	
女 (n=651)	9.4	37.8	8.3	11.4	16.7	10.3	2.9	7.5	1.7	14.0	2.8	30.3	0.6	18.1	
年代別															
20歳代以下 (n=87)	8.0	41.4	5.7	4.6	4.6	2.3	3.4	19.5	0.0	13.8	3.4	43.7	0.0	5.7	
30歳代 (n=127)	10.2	51.2	3.9	15.7	15.7	3.1	0.8	7.1	2.4	13.4	1.6	32.3	0.8	7.9	
40歳代 (n=149)	12.8	41.6	6.0	9.4	13.4	8.7	4.7	8.7	2.0	16.8	4.7	37.6	0.0	7.4	
50歳代 (n=169)	12.4	46.2	10.1	16.6	18.9	13.6	3.6	9.5	1.8	16.0	4.7	26.6	1.8	15.4	
60歳代 (n=265)	9.1	40.8	13.6	12.5	17.7	18.5	3.0	3.4	1.9	9.4	2.6	30.2	0.4	15.8	
70歳代以上 (n=384)	7.0	27.1	13.3	9.1	12.5	16.4	2.3	1.6	1.6	6.3	2.3	27.1	1.0	30.5	
居住地別															
水口地域 (n=471)	8.5	39.9	11.3	12.5	15.1	13.4	4.5	7.2	2.1	11.3	3.2	32.1	0.2	16.6	
土山地域 (n=107)	8.4	30.8	9.3	8.4	10.3	12.1	1.9	9.3	0.9	7.5	1.9	31.8	0.0	22.4	
甲賀地域 (n=159)	8.8	32.1	9.4	9.4	14.5	15.1	2.5	3.8	1.9	13.8	3.8	35.8	1.3	17.6	
甲南地域 (n=284)	9.5	43.3	8.1	10.6	15.1	12.3	1.1	4.9	0.4	11.6	2.8	25.7	1.8	18.7	
信楽地域 (n=158)	12.7	35.4	13.9	12.7	13.9	12.0	2.5	3.8	3.2	8.9	3.2	31.0	0.6	17.7	

※太字は上位3つ(不明・無回答を除く)

単位: %

図 118 DV についての相談窓口の認知度《性別・年代別・居住地域別》